

教育委員会活動の点検・評価報告書の公表

このことについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、別添のとおり公表する。

令和3年2月3日

与論町教育長 町岡 光弘

令和2年度
教育委員会活動の点検・評価報告書

与論町教育委員会

令和3年2月

I 点検・評価の概要

1. はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、すべての教育委員会が「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価」を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに、住民に対して公表するよう義務づけられた。また、その実施にあたっては、学識経験者の知見を活用するよう義務づけられた。

2. 点検評価の実施について

この点検評価は、教育委員会の会議による審議状況や教育委員による調査活動と、教育委員会の事務事業の執行状況について、実績や成果と課題を記述し、次に示す4区分により達成度の評価を行いました。

| 点 数 | 内 容 |
|-----|------------------|
| 4 | 順調に達成しているもの |
| 3 | おおむね順調に達成しているもの |
| 2 | 達成見込みがあるが課題があるもの |
| 1 | 順調でないもの |

(複数評価の場合、評価の欄は小数点以下第2位を四捨五入した数値で記載。)

3. 与論町教育委員会の取り組み方針

これまでは、教育委員会関係者とこども園や各学校管理職の自己評価・意見を集約したものであったが、平成28年度より教育委員会の活性化を項目に入れ、また、教育委員による自己点検、自己評価を加え評価項目は4段階での数値評価とし実施した。

その結果を、教育行政評価委員の意見を集約したものを添えて令和3年第1回議会定例会で報告するものです。

(1) 教育委員会の活性化の推進では、評価の観点を「(1)教育委員会の会議の運営」「(2)委員の研修等」「(3)委員の活動等」「(4)その他」の4項目について点検評価を行った。

(2) 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進では、評価の観点を「(1)道徳教育の充実」「(2)生徒指導の充実」「(3)人権同和教育の充実」「(4)体験活動の充実」「(5)子ども読書活動の推進」「(6)文化活動の推進」「(7)食育の推進」「(8)体力・運動能力の向上」「(9)健康・安全教育の充実」の9項目について、点検評価を行った。

(3) 社会の変化に対応できる力を育む教育の推進では、評価の観点を「(1)確かな学力の定着(学力向上)」「(2)特別支援教育の推進」「(3)キャリア教育の推進」「(4)郷土・伝統文化教育の推進」「(5)海洋教育の推進」「(6)幼児教育の充実」「(7)社会の変化に対応した教育の推進」の7項目について点検評価を行った。

(4) 信頼される学校づくりの推進では、評価の観点を「(1)開かれた学校づくりの推進」「(2)学校運営の充実」「(3)教職員の資質の向上」「(4)安全・安心な学校づくり」「(5)教育環境の整備・充実」「(6)特色ある学校づくりの推進」「(7)与論高等学校との連携の充実」の7項目について点検評価をおこなった。

(5) 地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進では、評価の観点を「(1)地域ぐるみでの子どもの育成」「(2)家庭及び地域の教育力の向上」「(3)家庭教育支援の充実」の3項目について点検評価を行った。

(6) 生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興では、評価の観点を「(1)生涯学習の推進」「(2)生涯スポーツの推進」「(3)スポーツアイランド構想の推進」「(4)文化芸術活動の推進」「(5)文化財の調査・保存・活用」の5項目について年間行事、各種協議会開催内容、文化活動、スポーツ大会開催状況やそれらの資料等をもとに評価と意見をまとめた。

教育行政評価委員

| 役 職 等 | 氏 名 |
|------------|---------|
| 与論小学校PTA会長 | 吉 田 憲 司 |
| 茶花小学校PTA会長 | 池 田 真 人 |
| 那間小学校PTA会長 | 川 畑 進 愛 |
| 与論中学校PTA会長 | 南 晶 仁 |

II 点検・評価結果

(4段階評価)

| 重点施策 | 評価の観点 | 成果・課題等 | 評価 |
|---------------------------|------------------------|---|------------|
| <p>1 教育委員会の活性化の推進</p> | <p>(1) 教育委員会の会議の運営</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会がほぼ予定通り開催でき、時間をかけて話し合いができた。 ・ 教育委員会への協議事項について事前配布に努めることができた。 ・ 確認作業や意見も含めた協議で時間を要した。 ・ 議事録については、簡潔明瞭にできるよう、協議のまとめを行いたい。 ・ 新型コロナウイルスの感染に伴う対応で臨時の教育委員会も実施できた。より迅速な対応に努めたい。 ・ 行事や連絡に共有メール活用で、迅速な連絡ができるようになった。 ・ 教育委員への行事等の案内の工夫を図ったが、変更もあり、今後定着への連携と確認も必要である。 ・ 教育委員会関係の行事の広報を町の週報、誠風、放送を活用したが、町民の行事等への参加が十分でないものもあり、さらに工夫が必要である。なお、誠風の発行を2か月に1回としたが、その反応の確認ができなかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回の定例会にて教育長を中心に事務局の事前準備のお陰様で、充実した議事が出来ています。 ・ 会議の内容に関しては細かい話に時間を割いた印象でした。重要課題に時間を使いたいと思いました。 ・ 新型コロナ感染症の為に臨時休業等の話し合いで臨時教育委員会が多く行われた年でした、この経験や課題を円滑に次に活かせたらと思います。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会は、毎月1回開催できた。臨時の会が例年に比べて多かった。 ・ 会議録の資料は事前配付され、ゆっくり確認等ができた。議案等の資料で当日配付され決済を求められることがあった。プライバシーに関するもの以外は、事前に配付すべきである。 ・ 12月定例会議の傍聴者が2名いたことはよかった。町民がもっと関心を持って傍聴してもらえるように、議題の広報や開催時間等にも工夫が必要である。 ・ 委員と事務局との連携には、まだ課題がある。 ・ 会議録の公表の仕方や広報等にもっと工夫が必要である。 ・ 法令に則した会議の運営を行うべきである。 ・ 月1回の定例会では事前に資料が共有されることでスムーズに行われていると思う。 ・ 新型コロナウイルスによる臨時教育委員会も問題なく対応ができたと思う。 ・ 不登校の問題などはナイーブな問題ではあるが現状把握にとどまらず、今後はもっと前向きな話し合いになるよう努めたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ感染症、台風等による休業判断の為に臨時委員会を円滑に開催出来た。 | <p>3.2</p> |

| | | |
|------------|---|-----|
| (2) 委員の研修等 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、研修が十分出来なかったことが残念である。 ・教育委員の県の研修会に参加できました。研修講話や講演内容に満足度が高く充実した研修会でした。 ・ 新型コロナ禍のため、研修の機会等がほとんどなく残念であった。 ・ 委員の研修のための資料が必要である。 ・県の研修会に参加させていただき勉強することができた。研修で得たことを持ち帰り、自身の活動にも役立てることができた。 ・ 各種研修会が新型コロナウイルス感染症の影響により予定どおり開催されず例年よりも研修できませんでした。 | 3.2 |
| (3) 委員の活動等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育行政を総合的に理解することができるよう町行事や教育委員会関係諸行事(学校行事、PTA研究会を含む社会教育関係行事、こども園研修等)に積極的に参加している。今後も一層計画的に分担した研修への参加を工夫したい。また各種団体・地域の行事等の情報提供に努めたい。 ・ コロナによって多くの行事が中止や、参加自粛でしたので残念な1年でした。 このような中、運動会体育祭だけは予定通り実施されたこと、参加できたことは何よりだと思います。 ・ 教育委員会主催行事については、ほとんど参加できた。 ・ 学校行事や各種団体行事等へは、案内があったものは都合に応じて参加した。 ・ 新型コロナウイルスの影響で学校行事が減少し、参加できる機会が少なかった。 ・ 委員になって保護者の方から意見を聞くことが多くなった。今後も保護者、子供目線で活動ができればと思う。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により様々な行事が中止になり例年より活動の機会が減りました。 | 3.2 |
| (4) その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員と社会教育委員等との意見交換会が必要だと考える。 ・ 教育委員会において委嘱または任命した組織の活動内容等を知る必要があると考える。 | / |

II 点検・評価結果

| 評価項目 | 評価の観点 | 成果・課題等 | 評価 |
|----------------------|----------------|--|-----|
| 2 豊かな心と健やかな体を育む教育 | (1) 道徳教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・各校で「心の教育の日」を設定し、全クラスで道徳の授業参観を行うよう指導するなど、道徳意識の高揚に努めた。 ・茶花小の道徳科の研究授業に指導主事を派遣し、指導方法の充実を図った。また、与論中学校の教頭を道徳教育推進に係るNITSオンライン研修(中央研修)に参加させた。 ・地域住民で「与論町の教育に望むこと」を語り合う場(海洋教育地域座談会)が設けられたが、そこでは、道徳性の育成に関する課題が比較的多く出された。道徳教育の充実については引き続き課題としていきたい。 | 2.5 |
| | (2) 生徒指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学校において年間5回以上のいじめアンケートを実施し、積極的にいじめを認知・指導するよう指示している。また、不登校や問題行動の状況について定例教育委員会で情報共有をし、今後の指導の在り方について協議している。 ・町単独予算でのSSWの雇用(2人)を継続することができ、家庭訪問や個別面談等の方法により、児童生徒・家庭を支援した。SSWと指導主事の情報共有の場も年に複数回設けた。 ・SCやSSW、保健センターなどの関係機関と連携して学校のサポートに努めた。新型コロナウイルス感染症に伴う閉塞感が少なからず影響し、全体として不登校傾向の児童生徒が増えつつあるため、今後、一層の関わりが必要である。 ・与論中学校の教諭を生徒指導推進のためのNITSオンライン研修(中央研修)に参加させた。 | 2.5 |
| | (3) 人権同和教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の学校経営グランドデザインの上に「人権尊重」、「人権教育の推進」等の文言を掲げるよう指示するとともに、人権教育資料「なくそう差別 築こう明るい社会」「実践例集仲間づくり」等を活用した職員研修が年3回以上位置付けられるよう指導した。 ・今年度は、町教委主催による「人権教育指導者研修会」を初めて開催した。各学校の取組を一層充実させるためのよい機会となった。 ・町内に新型コロナウイルス感染症が拡大していった時期には、誹謗中傷を許さない心を育てるために、「新型コロナウイルスと『結いの島』』という読み物資料を独自に作成し、各学校に配付した。 | 4.0 |
| | (4) 体験活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として、小・中学校の宿泊学習は、宿泊を伴わない「体験学習」としたが、調理実習や海浜での体験学習などが各学校で計画され、町教委学務課もその活動を具体的にサポートした。 ・海洋教育科における海浜での体験活動や、三線やエイサー等の伝統文化の継承に関する体験、サトウキビ栽培や黒糖作りなどの食に関する体験などが各学校で円滑に実施されるよう、地域人材の紹介や、交通手段の手配などを積極的に行なった。 | 4.0 |
| | (5) 子ども読書活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・各小・中学校において、学校司書の尽力により読書活動が創意工夫されている。特に与論中学校は県教育委員会の指定による読書指導研究の最終年度を迎え、読書活動がさらに充実した。ただし、年度当初に2小学校とそのPTAから「学校司書の全校配置」に対する陳情が挙げられたものの、予算の都合上対応が叶わず、該当する2小学校の読書活動の推進に困難を生じさせてしまった。 | 2.0 |

| | | |
|----------------|--|-----|
| (6) 文化活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、小中高音楽発表会は中止とした。 ・今年度は、県図画作品展での各学校・園の特選作品を掲示物にし、学校・園への巡回展示と役場庁舎での展示を行っている。また、児童生徒の優秀な図画作品を用いて「家庭の日」や「県民週間」のポスターを独自に作成し、各所に掲示した。このような取組により、文化活動に対する啓発を進めた。 ・与論中学校の教諭を芸術系教科の指導に係るNITSオンライン研修(中央研修)に参加させた。 | 3.0 |
| (7) 食育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学校で「早ね、早おき、朝ごはん」が推進されており、「弁当の日」についても、各学校の創意工夫により実践が継続されている。 ・大島支庁と連携した食育支援事業として、那間小学校と茶花小学校において、食育支援員を招いた「食に関する授業」を実施することができた。(講師:基眞理子さん、有元カスエさん ほか) ・毎月1回の「ユンヌマサムヌの日」の推進や、県産和牛肉提供事業への参加など、地産地消の推進と郷土料理の積極的な導入の視点から給食を充実させた。 | 3.0 |
| (8) 体力・運動能力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校水泳記録会及び小学校陸上記録会に企画段階から関わり、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの記録会運営を積極的にサポートすることができた。 ・各小・中学校に「たくましい“かごしまっ子”育成推進プラン」を作成させ、運動好きな子供の育成のための取組が各学校において計画的に推進されるよう指導した。 ・地域部活動推進協議会を立ち上げ、与論中学校の運動部活動顧問と、地域のスポーツ指導者との協力体制を一層密にしようと取り組んでいるところである。 | 2.5 |
| (9) 健康・安全教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学校長と緊密に連携しながら、新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業や学級閉鎖の措置を適時進めていったとともに、日頃の感染症対策について、疫学上の知見に基づいた具体的な指示を続けた。また、町内でのクラスター発生時には、県教育委員会や文部科学省からの問い合わせや指導の窓口となり、児童生徒の健康・安全の確保と、児童生徒の学びの保障の双方のバランスを大切にされた学校管理を進めた。 ・町内の保護者に向けた「学校の新しい生活様式」や「教育活動のQ&A」を作成し、町教委のホームページや紙媒体などで公開したとともに、感染状況に応じて随時内容を更新していった。 ・町内の医療機関と連携しながら学校検診を計画的に行い、再検査等が必要な児童生徒について適切な受診指導を行った。 | 3.0 |

| 評価項目 | 評価の観点 | 成果・課題等 | 評価 |
|------------------------|--------------------|--|-----|
| 3 社会の変化に対応できる力を育む教育 | (1) 確かな学力の定着(学力向上) | <ul style="list-style-type: none"> ・管理職研修会や学力向上担当者研修会などで学力向上のための指導を継続的に行った。特に、教頭研修会では「学力向上」を年間の研修テーマとして、各学校における学力向上策の取組を積極的に共有させた。また、2学期は、指導主事から、応用問題的な学習プリントを各学校に定期的に送付し、各教室で取り組ませた。 ・「自学ノート」の取組を推進することにより、各校で自主学習の習慣が定着しつつある。 ・1月に行われた鹿児島学習定着度調査の結果速報値によると、各小・中学校の結果は、今年度も概ね県平均と比べて高いが、依然として個人差や教科の差が大きく、その点が本町における課題である。 ・児童生徒の生活リズムの変化や家庭教育の考え方の変化等により『20分×学年』の家庭学習が徹底できない状況が増えている。 ・9月に行った家庭学習支援アンケートによると、児童生徒と保護者の双方とも、算数・数学科について、家庭学習の支援を求めている。放課後児童教室に代わるような場が必要かどうかを検討したい。 | 2.5 |
| | (2) 特別支援教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会の規則の改正や、特別支援教育連携協議会の設置要項の策定を行いながら、与論町の特別支援教育に「縦の連携」と「横の連携」を生み出す工夫をした。 ・特別支援教育の啓発を目的とした町独自のリーフレットを作成し、就学時健康診断や特別支援教育連携協議会等の様々な場で保護者・関係者に配付した。 ・大島養護学校の職員を例年よりも数多く招き、就学相談会やこども園及び各学校の巡回相談を充実させた。 ・保護者と学校・園の間に指導主事が入り、学校訪問や療育センター訪問等が円滑に進むようにした。 ・特別支援教育講演会をオンライン開催し、校種を越えた教職員が視聴することができた。 ・今後、ことばの育ちや子育ての困り感についての講演会を、保護者や教員向けに実施していく必要がある。 ・療育センター「ほのぼの」の移設に関しては、学校と療育センターの円滑な接続の視点から、指導主事からも具体的な助言を行った。 | 4.0 |
| | (3) キャリア教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校、与論高校でのキャリアパスポート(夢ファイル)の実施、引継ぎを進めている。 ・各学校においては、キャリア教育、海洋教育、「島だち(島立ち・島発ち・島建ち)の教育」の3つが別個のものとしてとらえられがちなので、今後、この3つのカリキュラムを統合させ、シンプルな教育プログラムを構築したい。具体的には、海洋教育にキャリア教育の視点をもたせつつ、「島だち」に必要な力を身に付けさせていくという方向性にしていきたい。 | 2.5 |

| | | |
|----------------------------|---|------------|
| <p>(4) 郷土・伝統文化教育の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・海洋教育が充実してきたことにより、「与論町の魅力を再発見するとともに、与論町の課題にも気づき、郷土と自分との関わり方を考える場」を新たに生み出すことができた。 ・各学校・各園において、ユンヌフトゥバを大切にした教育活動が展開されるように依頼した。 ・各小学校は今年度も、運動会に向けてエイサーの練習を積極的に進めた。 ・「ユンヌ検定」の内容を改善するとともに、多くの児童生徒が参加するよう積極的な周知を行った。 ・「与論カルタ大会」は新型コロナウイルス感染症対策のために中止になった。ただ、学校によっては代替措置がとられたようである。 ・「かごしまジュニア検定」への参加についても各学校に働きかけた。那間小からは6年生全員が参加することになった。 ・小学校3・4年生の社会科副読本「わたしたちの与論町」を5年ぶりに改訂し、郷土・伝統文化の情報を詳しく見直した。 | <p>3.0</p> |
| <p>(5) 海洋教育の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に、町内の全小・中学校で教育課程特例校を文部科学省に申請し、各校で「海洋教育科」を進める予定である。その計画のもと、海洋教育科のねらいを「海との共生に係る見方・考え方を働かせ、与論島の海とくらしの課題について探究することを通して、『島だちの力』を身に付ける。」とし、地域サポーターの活用や、各学校での学びの接続を推進した。 ・「第1回ヨロン海洋教育フェア」を感染症対策を講じながら開催し、先進校である茶花小学校や与論高校の学習成果を他校が知る場を設けた。 ・広報よろん、町教委HP、推進協議会のInstagram等で海洋教育の取組を積極的に発信することができた。 | <p>4.0</p> |
| <p>(6) 幼児教育の充実</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・園長研修会を定期的実施し、3園長と直接協議しながら、法的、教育的、経営者的な側面から指導と助言をすることができた。 ・「こども園研修会」や「こ小連携研修会」において、年長児でのアプローチカリキュラムと小学1年生のスタートカリキュラムの重要性を繰り返し指導するとともに、各小学校が作成したスタートカリキュラムをこども園の職員に提示するなど、「こ小接続」の実現のために具体的な働き掛けをした。 ・言語通級指導教室の担任や大島養護学校の職員をこども園に連れて行くなどして、こども園における特別支援教育の充実が図られるように努めた。 | <p>4.0</p> |
| <p>(7) 社会の変化に対応した教育の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想については、町の財政状況の厳しさから「一人一台端末」は実現するものの、「学校のWi-Fi環境の整備」は令和3年4月に間に合わず、「校務支援システムの整備」に至っては令和4年以降に先延ばしせざるを得なかった。与論町の教育の情報化の状況は、県内はもとより大島地区内においても遅れていたのだが、今回、さらに大幅な遅れをとることになる。一人一台端末も、Wi-fi環境が整うまではその機能を十分に発揮することができないため、与論町の子供たちは、令和3年4月以降、他自治体と比べ大きな不利益を被ることになる。現状が早期に打開されるよう、関係部局に対して引き続き働き掛けていきたい。 | <p>2.5</p> |

| 評価項目 | 評価の観点 | 成果・課題等 | 評価 |
|-----------------|------------------|--|-----|
| 4 信頼される学校づくり | (1) 開かれた学校づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会のホームページにて、新型コロナウイルス感染症に係る学校の対応や、各学校での海洋教育の様子、児童生徒作品の展示情報などをこまめに発信した。 ・地域が育む「かごしまの教育」県民週間は、新型コロナウイルス感染症の拡大により規模を縮小せざるを得なかったが、学校と地域の連携の大切さが伝わるようなポスターを独自に作成し、啓発に努めた。 ・「与論町いじめ防止基本方針」を改定し、教育委員会のホームページに公開した。今後は、今年度中に「学校の業務改善・働き方改革」の推進についてのガイドラインも公開し、保護者・地域の理解と協力を求めている。 ・各小・中学校の海洋教育の推進に地域サポーターが関わることで、「開かれた学校づくり」が進展した。今後は、与論中学校の部活動に地域の運動・文化の指導者が積極的に関わるができるようなシステムを構築することで同様の効果を求めている。 | 3.5 |
| | (2) 学校運営の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・管理職研修会を通じて町教育行政の施策を伝えるとともに、各小・中学校長が目標をもち、課題を設定して学校運営に取り組むよう指導を行った。 ・機会をとらえて学校訪問をすることで、学校の課題に対する助言を行った。新型コロナウイルス感染症の拡大により11月の訪問はできなかったが、学校訪問の意義を踏まえつつ、年が明けた1月に代替の訪問を実施した。 ・指導主事の訪問により、校内研修の場をとおして組織力を高めること等について各学校に助言した。また、茶花小学校の教諭をカリキュラム・マネジメントに係るNITSオンライン研修(中央研修)に参加させた。 ・校長会、教頭会からの要望に添う形で、町主催の諸行事や諸会議の在り方の改善に努めた。 | 3.0 |
| | (3) 教職員の資質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・適時サービス指導を行い、教職員のサービス規律違反0件を達成することができた。 ・各小・中学校の校内研修や、経験年次研修などの場で指導主事が指導や助言を行い、教職員の資質の向上に努めた。 ・大島教育事務所の指導主事や、県総合教育センターの研究主事を定期的に各学校に招聘し、中・長期的な視野での指導をいただいた。ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、管理職研修会や教職員等研修会は中止せざるを得ず、県外の外部講師を招くことも困難だった。 | 2.0 |
| | (4) 安全・安心な学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・通学路安全推進会議(年2回)を開き、各校の通学路に関する課題を解決すべく、学校、道路管理者、警察、自治会代表、保護者代表等の連携を図った。 ・校舎、校庭、教職員住宅の修繕補修を行い、児童生徒教職員が安心して過ごすことができる環境整備に努めた。 ・スクールガード・リーダーの事業を継続し、登下校時の見守りや校内巡視などの活動を年間27回行った。 ・水難危険区域マップを改訂し、校外生活指導連絡会で参考資料として提示した。 | 3.0 |

| | | |
|--------------------------|---|------------|
| <p>(5) 教育環境の整備・充実</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・全ての小・中学校において校舎の安全点検を実施した。 ・今年度、「与論町総括安全衛生委員会」を立ち上げ、来年度以降、町として教職員の労務環境の改善を支援できる仕組みを整備した。 ・老朽等に伴う校内の危険箇所の修繕を随時実施した。ただし、修繕が追いつかず、年度をまたぐ箇所も数多くある。 ・教職員住宅の中に生活環境が劣悪な物件が残されているなど、残された課題は少なくない。 ・校内のWi-Fi環境整備については、予算の都合上、国や県が求める「令和3年4月の使用開始」には間に合わなかった。 ・茶花小学校及び那間小学校については、建物の状況から早期の立て替えが必要である。 | <p>1.5</p> |
| <p>(6) 特色ある学校づくりの推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「中学校及び高校の2学級存続」を目指したふるさと留学生事業を継続することができた。今後も、必要に応じて制度を見直しながら、受け入れ活動の充実を図っていく必要がある。 ・町として進める「島だちの教育」が、児童生徒にどのような資質・能力を身に付けさせることをねらっているのかを、各学校にさらに分かりやすい形で伝えていく必要がある。 ・漢検・英検補助金制度の理解が進み、各学校からの受検者を大幅に増やすことができた。 ・これまで町教委が進めてきた「与論と沖縄を学ぶ学習」「夢育成事業」「与論のことわざ」「弁当の日」などの取組が、教職員の異動に伴って風化しつつある状況が散見されるため、周知を図りたい。 | <p>2.0</p> |
| <p>(7) 与論高等学校との連携の充実</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も、連携型中高一貫の乗り入れ授業を継続することができた。 ・今年度は、中学校長と高等学校長の日常的なやりとりが今まで以上に密になされ、これまで形ばかりとなっていた研修会等の在り方を見直すなど、積極的な連携姿勢が生まれていた。 ・県民週間に合わせた高校訪問はできなかったが、3学期中に代替の訪問を行う予定である。 ・中学校の研究授業の際に高校の教諭が複数名参加し、授業研究会でも積極的に発言した。 ・小・中学校と連携して海洋教育の実践に取り組み、その成果を「第1回ヨロン海洋教育フェア」などの場で発表することができた。 | <p>3.0</p> |

| 評価項目 | 評価の観点 | 成果・課題等 | 評価 |
|--------------------------|-------------------|--|----|
| 5 地域全体で子どもを守り育てる環境づくり | (1) 地域ぐるみでの子どもの育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、多くのイベント等が延期・中止となる中、各単位子ども会・育成会の特性を考慮した活動方法を模索することができた。全15子ども会が参加し開催方法を検討して、地区子連及び町子連主催の地区子ども会創作活動大会を実施し、花壇コンクール・クリーン大作戦を2月に実施する予定である。 ・ジュニア・リーダー養成において「社会を生き抜く力」や「自己肯定感」を育むための研修活動を実施して参加者数の増加を図ることや、交流活動・体験活動推進の重要性を再確認し積み重ね、さらに充実した活動にすることが課題である。 | 3 |
| | (2) 家庭及び地域の教育力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・本年度はコロナウイルス感染症防止の為、「家庭教育学級合同開講式」を資料配布のみとし、町内小・中学校の全ての家庭へ家庭教育の課題と対策について考える為の資料及び「じんけんハンドブック改訂版」の写しを配布し、家庭教育力の向上及び人権意識の高揚に努めて頂きました。 今後の課題 ・各学校単位で取り組まれている家庭教育学級の充実と、子どもの成長に応じた家庭教育のポイントの周知を目指す。 ・家庭教育学級の対象に就学前の子どもを入れるべく子ども園の参加を検討する。 ・家庭教育学級の在り方については、子育て相談の場作りとして父親の参加を考慮した、より効果的な場の設定となるよう共通理解を図る。 | 3 |
| | (3) 家庭教育支援の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ感染関係で参加できなかったが、次年度以降職員を家庭教育支援員研修に参加させ家庭教育支援の充実に努める。 | 3 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

| 評価項目 | 評価の観点 | 成果・課題等 | 評価 |
|---------------------------------|-------------------|---|-----|
| 6 生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興 | (1)生涯学習の推進 | <p>・城、東区、古里の自治公民館長と青少年センター施設の管理に関して基本協定書(令和2年度から令和6年度)を締結し、それに基づき年度協定を締結した。・特定非営利活動法人ヨロンSCを与論町中央公民館・茶花地区公民館の指定管理運営者として指定し管理運営を委託し、活動の充実を図っている。</p> <p>・6月27日(土)・7月18日(土)大島地区子ども会創作活動大会開催。小学生・中学生49名が参加。国の重要無形民俗文化財である「与論島の芭蕉布製造技術」について学び、知識を深め、活動報告を通して地域独自の伝統や文化を町内外へ発信した。また、安全に活動するとともに、創り上げる楽しさや協調性・思いやりの大切さを認識して、心豊かでたくましい青少年の育成を図り、子ども会活動の活性化を推進できた。</p> <p>・読書の推進・普及を図るため、学校等の9施設に移動図書館で月1回出向き、巡回貸出しを行った。</p> <p>・子どもの読書活動を促進するため、1年生図書館招待、町探検の受入を行った。新型コロナウイルスの影響によりおはなし会が中止となったが、新たにスタンプラリーを行い読書活動の推進を図った。</p> <p>・商工観光課と連携し、人形劇ひょっこりひょうたん島の上映会を行い、図書館の利用促進を促した。</p> <p>・町政や地域の情報提供を行うため、町民福祉課(子育て支援・求人情報の提供)や、よろん出産子育て応援隊あんなあ〜ずと連携を行った。</p> <p>・新鮮で魅力ある図書館資料の充実が課題である。</p> | 3 |
| | (2)生涯スポーツの推進 | <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの行事が中止になった。次年度以降は内容の変更も考えながら、行事を開催できるよう取り組んでいきたい。</p> <p>各種行事が中止になり、施設の開放も制限される中で、平時は手の行き届いていない箇所の修繕や美化活動を行った。</p> | 2.5 |
| | (3)スポーツアイランド構想の推進 | <p>県外等からのスポーツ合宿が新型コロナウイルスの影響により誘致できなかった。新型コロナウイルス終息後のことも考え、最適な受入体制や施設を準備していくことが課題である。</p> | 3 |
| | (4)文化芸術活動の推進 | <p>・今年度は、町の生涯学習フェア・文化祭の他に、群の生涯学習推進大会や広域文化祭への参加を予定しており、準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、前者は中止、後者は次年度に延期となったため、主たる行事や事業を実施することが困難な状況であった。</p> | 3 |
| | (5)文化財の調査・保存・活用 | <p>・昨年度から引き続き、与論城跡の国指定に向けた調査事業を行い、今年度は発掘調査を実施した。</p> <p>・工事中に発見された埋蔵文化財について文化財保護法に基づく、不時発見の手続きを行った。また、活用については、与論城跡に関するシンポジウムを実施した。・芭蕉布の製造技術が国指定の重要無形民俗文化財となり、民俗関係についても普及啓発を図っていきたい。</p> | 3.5 |

教育行政評価委員意見のまとめ

| 重点施策 | 評価の観点 | 成果・課題等について評価委員の意見 |
|---|-----------------|---|
| 1 の 教 育 推 進 委 員 会 の 活 性 化 | (1) 教育委員会の会議の運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・あげられた課題を具体的にどう取り組み改善していくかを明確にしていければと思います。 ・新型コロナウイルスにより会議の開催が難しい中、工夫されていたと思います。 ・新型コロナ対策等大変だと思いますが定例会は続けてもらいたい。 ・町民への周知をお願いしたい。 ・今年度は臨時会が多く開かれ難しい判断をせまられる事も多かったと思うが概ね適正な対応が出来ていたと思う。 |
| | (2) 委員の研修等 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修したものを更に共有していただければと思います。 ・評価は適正と思います。 ・研修の参加等難しいと思いますが参加できるものは積極的に参加してもらいたい。 ・参加可能なものは参加して役立ててほしい。 |
| | (3) 委員の活動等 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動減少の中でも積極的に参加できていた。 ・評価は適正と思います。 ・委員の方の参加は大変ありがたい。 |
| | (4) その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・このような時代だからこそ普段できない事への取り組みがあってもいいと思います。 |

| 重点施策 | 評価の観点 | 成果・課題等について評価委員の意見 |
|----------------------|----------------|---|
| 2 豊かな心と健やかな体を育む教育 | (1) 道徳教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域住民との連携がより深まると良いのでは ・海洋教育地域座談会において意見や課題が出されたようで道徳教育の充実を図って頂きたい。 ・不登校問題も増えているので道徳問題は特に力をいれてもらいたい。 ・新しい取り組みの手応えがあるようなので継続して頑張ってもらいたい。 |
| | (2) 生徒指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・ひきつづき不登校問題には深く取り組んでいければ ・いじめや不登校は時代によって変化するものと思いますが、児童の心のケアなど今後も課題に取り組んで頂きたい。 ・いじめアンケート等の結果を踏まえ更に改善していけるようお願いしたい。 ・よく取り組んでいるが、結果に結びつくよう更なる研究、研修を積んでほしい。 |
| | (3) 人権同和教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・「結の島」はどこで見れますか？ ・評価は適正と思います。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (4) 体験活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも大変工夫され実施されたと思います。 ・評価は適正と思います。 ・体験活動時に感動が得られるアイデアを常に増やす努力をお願いしたい。 |
| | (5) 子ども読書活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・目に見えて読書の習慣が増えていると思います。 ・学校司書の問題について予算の問題があるようですが、早急に改善して頂きたい。 ・中学校の活動は大変良い事である。小学校への実施も期待したいです。 ・大変充実していると思う。 |
| | (6) 文化活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・巡回展示は、良いと思います。データ化してHP等に掲載できないか。 ・評価は適正と思います。 ・今年度は仕方ないが来年度は期待してます。 ・発表の場が無くても活動自体が楽しいものであってほしい。 |
| | (7) 食育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・地産地消と弁当の日は、今後も継続してもらいたい。 ・大変充実していると思う。 |
| | (8) 体力・運動能力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域部活動推進協議会に大変期待しています。 ・評価は適正と思います。 ・小中学校生徒の体力・運動能力の低下を心配、保護者にも積極的な対策を検討し、取り組んでももらいたい。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (9) 健康・安全教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。コロナへのメンタルケアをより充実できればと思う。 ・コロナクラスター時の対策は迅速で子ども達の間で広がらず良かった。 ・今回のコロナ対応は本当にお疲れ様でした。まだ続きますが頑張ってもらいたい。 |

| 評価項目 | 評価の観点 | 成果・課題等について評価委員の意見 |
|--|-------------------------|--|
| 3 社会 の 変 化 に 対 応 で き る 力 を 育 む 教 育 | (1) 確かな学力の定着 (学力向上) | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (2) 特別支援教育の推 進 | <ul style="list-style-type: none"> ・療育センターに関しては、より強化が(人員等)必要と思います。 ・評価は適正と思います。 ・来年度からのこども園の再編も含め、更なる充実を期待してます。 ・ケースバイケースで個々に応じて保護者の相談に応じながらベストな対応が出来るようにして頂きたい。 |
| | (3) キャリア教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・外部からの職業講和等子ども達が直接話を聞ける場を増やしてもらいたい。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (4) 郷土・伝統文化教 育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・ユンヌフトウバ、ユンヌカルタ等島の大切な文化を残していけるように私達も協力したい。 ・とても充実していると思う。 |
| | (5) 海洋教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (6) 幼児教育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実をより強化できればと思います。 ・評価は適正と思います。 ・保育士不足の改善も含めて現場の意見も大切にしてもらいたい。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (7) 社会の変化に対応 した教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・オンラインに対応できる学校にするため予算の確保をお願いしたい。 ・WIFI環境の整備等予算の問題もあると思うが早急をお願いしたい。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |

| 評価項目 | 評価の観点 | 成果・課題等について評価委員の意見 |
|-----------------|-------------------|--|
| 4 信頼される学校づくり | (1) 開かれた学校づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (2) 学校運営の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域へのアンケート等を実施したらどうか。 ・評価は適正と思います。 ・小中学校の情報共有も含め町全体で取り組める運営をお願いしたい。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (3) 教職員の資質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・教職員の職務も多いとは思いますが地域への参加・交流もお願いしたい。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (4) 安全・安心な学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・朝の登校指導では茶花小学校周辺に地域の老人クラブの方が見守りしており有難く思います。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (5) 教育環境の整備・充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・予算獲得に尽力していただきたい。特に教員住宅の生活環境については早期の対応が望まれる。 ・学校の建物・教職員の住宅等少しずつでも改善してもらいたい。 ・教員住宅の環境改善は大事だと思う。 |
| | (6) 特色ある学校づくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・留学生事業をより充実できれば ・評価をもう少し上げて良いと思います。 ・高校存続に向けて本腰入れてほしい。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (7) 与論高等学校との連携の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・中高の学業の連携だけでなく部活動等も含めて更に連携してもらいたい。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |

| 評価項目 | 評価の観点 | 成果・課題等について評価委員の意見 |
|-----------------------|-------------------|--|
| 5 地域全体環境で子どもを守り育てる | (1) 地域ぐるみでの子どもの育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに行われるサッカー大会(サッカー連盟主催)は全小学校対象のため教育委員会としてもフォローして良いのではないのでしょうか。 ・評価は適正と思います。 ・今年は、行事の中止が多く残念でした例年のような活動ができたらいと思う。 ・コロナ収束後はさらに充実できるようにして頂きたい。 |
| | (2) 家庭及び地域の教育力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・教育向上のために親としての立場からも協力していきたい。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (3) 家庭教育支援の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・積極的な研修への参加を続けてほしい。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |

| 評価項目 | 評価の観点 | 成果・課題等について評価委員の意見 |
|--|--------------------|--|
| 6 ツ生 ・涯 文に 化わ のた 振っ て学 べる 環 境 づ くり とス ポ ー | (1) 生涯学習の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (2) 生涯スポーツの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・ゆいランド、特に観客席裏側が危険だと思います。 ・評価は適正と思います。 ・多くのスポーツイベントが中止になり来年度は対策をして有効なイベントを増やしてほしい。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (3) スポーツアイランド構想の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・今後の活動に期待します。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (4) 文化芸術活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |
| | (5) 文化財の調査・保存・活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価は適正と思います。 ・島の貴重な文化財の有効活用をお願いしたい。 ・継続して取り組んで頂きたい。 |

総合的な意見

- ・コロナ禍により思うような活動ができない中、与論町の児童のためご尽力いただき心より感謝申し上げます。今後とも島の宝のため宜しくお願いします。
- ・多くの町民にこの教育活動を知ってもらいたいと思います。今後もできるところは協力していきたい。
- ・今回のコロナ対応での問題点、課題、反省点をしっかり検証して今後に生かして頂きたいと思います。

意見のまとめかたについて

- ・別添資料を参考にしてください。
- ・概ね評価は適正である。それは・・・
- ・評価が少し甘いような感じである。理由は・・・
- ・〇〇によく取り組んでいるようであるが、このような視点から、子供達に・・・の力をつけられるよう・・・
- ・〇〇については・・・といった配慮もして欲しいものです。
- ・〇〇については、引き続き努力を続けて欲しい。
- ・〇〇のような活動は大変・・・である。子供達も・・・のようだ。それですらに・・・